

堀江中学校 校長室だより

令和7年度 No.11

さくら



令和7年6月16日(月)

夢をかなえるために

「わたし看護師になりたいんです」「そしたら、Tさんのお母さんが〇〇病院の看護師長さんしてはるから、頼んで看護師の仕事見学させてもらおか」

3年生の担任をしていたとき、教え子とこのような会話がありました。Tさんのお母さんに連絡すると、「来週に看護学校の戴帽式(たいほうしき)があるから、それを見学させてあげたらどうかな」という提案がありました。その提案を受け、戴帽式当日、彼女は〇〇病院に行きました。

看護学生が手に燭台(しょくだい)を持ち、ろうそくの灯りの中、厳かに響き渡るナイチンゲール誓詞。その光景を目の当たりにした彼女の胸には、看護師になるという強い決意が芽生えたのです。その日の感動が、彼女の人生を決定づけました。

Tさんのお母さんのアドバイスもあり、彼女は普通科高校へいき、卒業後、看護専門学校に進学しました。しかし、夢をかなえるための道のりは、決して平坦ではありませんでした。学業はもちろん、厳しい実習など。「看護学校をやめたい」と連絡してきたこともあります。そのたびに彼女を励ました。時には困難な状況に直面しながらも、彼女は持ち前の粘り強さで、それを乗り越えていきました。そして今、彼女は看護の第一線で仕事をしています。

このエピソードから、夢をかなえるために大切なことがいくつか見えてきます。まず、「感動体験」です。時に、私たちは何気ない日常の中に、人生の転機となるような感動的な出会いや出来事を見つけることがあります。そうした体験が、私たちに具体的な夢や目標を抱かせ、その実現に向けての一步を踏み出す原動力となります。

次に「地道な努力」です。夢を夢で終わらせないためには、努力を積み重ねるしかありません。困難にぶつかることもあるでしょう。しかし、そこであきらめてしまえば、夢はかなわないのです。

最後は「信じる心」です。自分の可能性を信じ、夢はかなえられると信じる気持ちが、私たちを前に進ませる大きな力になります。

皆さんには、日々の体験の中に感動を覚え、努力を忘れず、自分自身を信じる心を持って、それぞれの夢をかなえてほしいのです。

戴帽式

看護学校などで、病院実習に臨む直前、教員が学生一人一人にナースキャップを授与する式典。ただし、近年、医療現場では、衛生上の理由などでナースキャップは使用しなくなっている。

ナイチンゲール誓詞

看護倫理および原則に対する誓いの言葉

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

